

令和5年度 社会福祉法人 魚沼福祉会 事業経営報告

[魚沼福祉会 事業経営の概況]

昨年に続き、新型コロナウイルス感染症による事業の休止、その対応に加えて諸物価の上昇が法人経営に大きくのしかかった1年でした。しかし、今年度は補助金収入及び職員不足による人員確保が出来ず結果的に人件費の削減となり6年ぶりの黒字となりましたが、手放しで喜べる状況にはありません。

特養部門では、あぶるま苑の看護師配置基準の関係から、3月より美雪園との間で2床を異動し短期入所を調整しました。コロナ対応と面会制限を継続している中でも、基本のケア、リハビリテーションと認知症ケアについて重点的に取り組み、看取り介護にも力点を置き、ご家族とともに穏やかな最期となるように支援しました。

在宅部門では、利用者の減少・要介護度の軽度化などが如実に収入減に現れました。特にうかじ園の短期入所休止及び各施設の短期入所部門の収入減が大きく響いています。介護支援専門員・地域包括支援センター職員と連携し介護サービス向上を目指しました。

昨年度より事業休止する市内サービス事業所が続いており、魚沼市を含め各法人との話し合いを持っていますが、どこの法人も経営悪化と、人材不足が大きな課題となっています。

決算の状況としては、補助金収入と人件費が結果的に削減されたことで改善した格好となりましたが、厳しい状況であることに変わりがない状況です。

[表1] 事業活動決算総括表

(単位：円)

区 分	前年度 活動増減差額	事業活動増減差額内訳			前年度差額
		収 益	費 用	当期活動増減差額 (収益率)	
・法人会計拠点区分	468,651	3,218,671	3,334,068	△115,397	△584,048
・美雪園拠点区分	△5,130,515	497,586,009	467,505,364	30,080,645	35,211,160
・うかじ園拠点区分	5,515,409	489,175,395	493,076,123	△3,900,728	△9,416,137
・寿和ホーム拠点区分	△10,429,702	229,712,172	240,893,390	△11,181,218	△751,516
・あぶるま苑拠点区分	5,523,164	240,090,802	243,121,002	△3,030,200	△8,553,364
・ひまわり拠点区分	△7,360,483	175,135,495	184,346,231	△9,210,736	△1,850,253
(拠点区分間取引消去)		△2,310,000	△2,310,000	0	
社会福祉事業区分	△11,413,476	1,632,608,544	1,629,966,178	2,642,366	14,055,842
・魚沼市高齢者生活支援ハウス	0	6,674,152	6,674,152	0	0
公益事業区分	0	6,674,152	6,674,152	0	0
・あぶるま苑給食受託事業	0	5,766,417	5,766,417	0	0
収益事業区分	0	5,766,417	5,766,417	0	0
(事業区分間取引消去)		0	0	0	
令和5年度	△11,413,476	1,645,049,113	1,642,406,747	2,642,366 0.41%	14,055,842
令和4年度	△20,868,579	1,764,091,261	1,775,504,737	△11,413,476 (△0.67%)	9,455,103
令和3年度	△15,675,487	1,632,387,456	1,653,256,035	△20,868,579 (△1.29%)	△5,193,092
令和2年度	△45,815,700	1,676,770,262	1,692,445,749	△15,675,487 (△0.89%)	30,140,213
令和元年度	△24,936,270	1,624,272,277	1,670,087,977	△45,815,700 (△2.87%)	△20,879,430
平成30年度	21,665,118	1,625,259,614	1,650,195,884	△24,936,270 (△1.56%)	△46,601,388

※「収益率」は、経常増減差額から借入金利息補助金収益を除いた額とサービス活動収益計の比率としている。

